

所 属	県土整備部 道路建設課		
担当(係)名	企画担当 他	内線	3691

活力ある県土づくりの基礎となる幹線道路網の整備

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
19,550,848	国庫 5,660,400	工事請負費 6,809,411
(前年度	県債 13,790,350	(道路、橋りょう整備)
22,183,020)	一財 7,228	負担金 8,381,548
	分・負 92,870	(直轄道路事業負担金)
		(維持・修繕を除く)

2 背景・現状

自動車への依存度が高い岐阜県にとって、道路は、生活、産業、経済の根幹をなす重要な社会基盤であるが、本県の道路改良率は全国第36位と低い水準にあり、早期の幹線道路網の整備が望まれている。

3 事業目的

観光、産業など広域交流の基盤となる新高速三道を始めとした県土1700km骨格幹線ネットワーク道路の整備を促進し、産業経済活動、地域の活性化を支援する。

4 事業概要

県土の骨格を形成する幹線道路の整備

県土1700km骨格幹線ネットワーク構想に基づき、東海北陸自動車道などを基軸に南北軸、東西軸、放射状軸を形成する主要骨格幹線ネットワーク道路の整備や、主要都市間及び地域間を連絡する幹線道路などの骨格幹線補完ネットワーク道路整備を推進する。

近隣県との連携を強化する道路の整備

空港や港湾を持たない岐阜県が近隣県の空港や港湾等の利活用を促進するために、他県の空港・港湾に繋がる道路整備を推進する。

主な路線：〔中日本高速〕東海北陸自動車道（白鳥ICまでの4車線化）

〔国直轄道路〕東海環状自動車道、中部縦貫自動車道 等

〔県管理道〕(国)256号濃飛横断自動車道、

(国)156号福島バイパス、

(国)248号関バイパス、

(国)360号種蔵打保バイパス、

(国)418号丸山バイパス、

(主)岐阜関ヶ原線、(一)大垣江南線、

(一)扶桑各務原線 等

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)(5)直轄事業負担金
(明細書事業名) 公共事業他
直轄道路事業負担金他